

みどりの杜俳句会

台風一過友の安否を気づかへり

佐山けさ子

台風禍山の畑の畝崩れ

高橋 きみ

芋煮会始る空を鳶舞へり

安田 久子

秋日和九三才祝はるる

飯野 トヨ

くじやく草束ねて村の晴れ渡る

河西カナメ

みどりの杜畑に秋茄子ぶら下がる

田村 好子

芋煮会友と話して尚旨し

高橋 ツ子

裏庭に立てばもくせい香の強し

鈴木 啓子

台風禍庭中堀の如き水

西 ツル

長き夜や苦勞時代を語り合ふ

馬場 芳

山晴れて父と連れ立つ茸狩り

吉田 愛子

時期ずらす電照菊や山の畑

山崎 才子

連続に広がり秋の雲白し

梅沢きくえ

亡き友を偲びて今日も秋の雨

飯野はつ志

鳥瓜枝より枝へ下がりけり

落合 七郎

雨上り庭に飛び来る秋の蝶

関口 真吾

酒蔵の庭の片隅貴船菊

野口利江子

里芋の畝刈り草のかぶせあり

関口 侑子

川風に蕊のゆらげり曼珠沙華

谷内 真里

増水の華厳や紅葉雨しづく

小宮 勉

人見知り始まる五才秋日和

大竹 祐也

立冬や夜祭り衣粧子に揃へ

岩崎 真人

白菜の葉の軟らかく巻き始む

土屋 厚子

鬼野芥子振って穂絮を飛ばしけり

初雁 功子

豪雨後の土塁山百合青実伏す

山田 美子

白石短歌会

あれほどの荒ぶる風も知らぬ気に

澄み渡る空に三日月浮ぶ

旅情の詩も五木の歌も好きなるに

なぜに暴れるあの千曲川は

孤独する峡の山々せ、らぎの

増水轟き秋の気配す

増水轟き秋の気配す

炬燵入り七人家族の笑みこぼる

待ち遠しかな五月に誕生

渡邊阿里子

白石 礼子

坂本 美江



人権シリーズ

362

「人権擁護委員の活動について」

人は、人権により守られ安心した生活を送れるはずですが、現実の社会では、いじめ、暴行、虐待、差別、プライバシーの侵害、セクシャル・ハラスメント、インターネット上での誹謗中傷など、たくさんの人権問題が発生し、不安な生活を送られている方が数多くいるのが現実です。こうした人権問題の解消に向け取り組んでいただいているのが、人権擁護委員さんです。

人権擁護委員は、国民の基本的な人権を守り、また、人権が大切なものであることを国民に知ってもらうため、法務大臣から委嘱され活動する、民間の方々です。

現在、14,000名の人権擁護委員が全国の各市町村(東京都においては区を含む)に配置され、本村でも2名の方に積極的な活動を行っていただいています。

人権擁護委員の活動としては、主に次の3つの活動が中心となっています。

- ①人権啓発
    - ・住民一人ひとりの人権意識を高め、人権について理解を深めてもらうための活動(イベント開催など)
  - ②人権相談
    - ・面談、電話、インターネット、手紙による人権に関する相談への対応
  - ③人権侵害の被害者救済
    - ・いじめ、差別、暴行、虐待等
- 人権に関することでお困りの方は、村総務課または、さいたま市地方務局東松山支局人権擁護事務担当を通じ、人権擁護委員へご相談ください。

東秩父村総務課長 柴原 正